



この新聞はHP (<http://www.npo-asia.org>) でも読めます。上のQRコードを読み取ってください
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻 2-18-22-414 E-mail: new-wind2006@npo-asia.org

新年のご挨拶

理事長 加納 啓良

2021年、あけましておめでとうございます。とりわけ今年は一年の平安をアマビエ様に祈願しましょう。

ところで新年のあいさつを、アジア4か国ではどう言うのでしょうか？中国やベトナムでは旧暦の元旦、つまり春節やテト（今年は2月12日）のあいさつになりますね。中国語ではふつう「恭賀新禧」、ベトナム語では「チュック ムンナム モイ」(Chúc mừng năm mới) と言うそうです。

タイとインドネシアでは、日本と同じく新暦の元旦が祝日で

す。まずタイ語では「サワディー ピーマイ」(sa wāt dīi pii mǎi) と言うのが定番とのことです。インドネシア語は「スラマッ トフン バル」(Selamat tahun baru) です。ただしインドネシア人の大多数はイスラム教徒なので、新暦の元旦よりもイスラム暦の断食明けの方が大切

です。2021年の断食明け祝日は、5月13、14日になります。

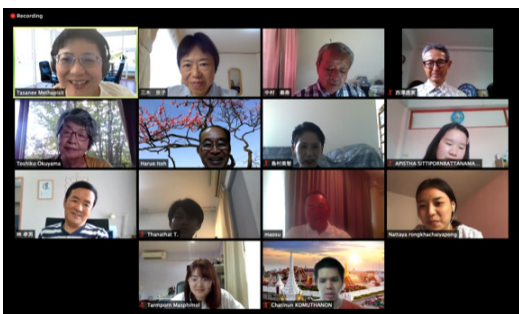


I メイトオンライン交流会

今年は各大学や架け橋グループとの交流会を Zoom によるオンラインでの交流としました。

タマサート大学交流会

タマサート大学のタサニー先生の協力を得て、オンラインでの Zoom 交流会が実現、日時は、9月6日（日曜日）11～13時まで、



（上段右から二人目が中村さん）

参加者は、タサニー先生と留学から戻った5年生3名、在校生2名の6名、アジア風会員8名で開催した。

全員自己紹介のあと、タイへ帰国後の留学

生が2週間パタヤのホテルに隔離された話、コロナ禍での大学生活、メール交流の話題、日本に留学してからの気持ちの変化など話し合った。在校生との日本語レベルに差があったが、全員の発言と顔が見えて楽しく交流することができた。今まではメールだけの交流であったが、こうしてオンラインでの交流が出来ることが分かったとの新しい発見もあった。在校生からも日本語は下手だが、頑張って話したいとの声を聞くことができた。タサニー先生にリードして貰い、学生、会員も楽しかったと、概ね良かったとの感想で有意義であったと思う。

（前タマサート大学コーディネーター 中村 泰寿）

貿易大学交流会

オンライン交流会の計画を立てていたときから楽しみにしていました。今回の交流会でパートナーの今井進さんだけでなく、日本人の会員の皆さんと話し合っ、大変嬉しかったです。学生の会員が自分の感想を言って、日本人の会員が面白いことを教えることで、みんなもっとお互いのことが分かってきました。これから、みんなの関係が深くなることを期待しています。実は交流会の後日本人の会員と友達を作りましたよ。



（I メイト学生 ド・テイ・トウアン）

9月27日に、I メイトの皆さんとオンラインのミーティングがありました。初めて皆さんと話し合いましたが、みんなは家族のようで、暖かい気持ちを感じました。そのミーティングでは皆の自己紹介だけでなく、日本人のI メイトから日本の文化とか有名な観光地も紹介していただきました。1時間ぐらいのミーティングでしたが、とても面白かったです。I メイトの皆さんはいつもお世話になっており、心から感謝しています。

（I メイト学生 チャン・テイ・タイン・ホア）



架け橋グループ交流会

10月18日（日）11:00～12:00 日本人会員6名と東京工業大学大学院に留学予定の学生5名が参加し、松野芳夫さんがファシリテーターを担い Zoom ミーティングを行いました。また東工大の王垂民さんが参加され、適切な通訳がミーティングに活気をもたらしました。



（上段右から二人目が伊藤さん）

参加した学生は、来日後日本語を習い始め、1年ちょっとの学習者と今年帰国した留学生です。メールでは間違いの少ない文章を書きますが、自己紹介では思い通りの話ができないもどかしさを感じている様子。今後、SNSを活用し日常会話の交流を増やせば学生に喜ばれると思いました。島村美智さんが、写真を用い日本料理について解説したことはグッドアイデアで、学生たちは日本料理文化に興味津々（しんしん）でした。

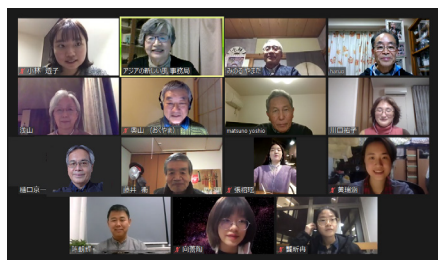
日本でやってみたいこと、日本で行ってみたいところ、の質問に対し、学生たちは、日本の都市・地方への旅行を口にしていました。日本の文化に触れ、日本人との交流を望んでいる様子。会員から「来日後一緒に食事や旅行に行きましょう」との声が多々ありました。

（正会員 伊藤 春雄）

《次ページに続く》

清華大学交流会

今回の交流会は私にとって初めてのアジア風のイベントでした



〈上段左端が小林さん〉

が、みなさんが気さくにお話しされている様子を見て、リラックスして交流することができました。

交流会ではまず自己紹介をし、次にグループに分かれて個別に交流を行いました。

グループではIメイトの黄さんの日本での留学先についてお話ししました。黄さんはとてもフレンドリーで、話してとても楽しかったです。黄さんが日本のどの大学に留学するか迷っていると言うことで、他の日本人会員の方から個々の大学アドバイスをいただいて納得した表情をしていたのが本当によかったと思いました。

Iメイト交流では一般の大学生間との交流とは異なり、年上の会員の方の含蓄ある日本社会の考察や、正しい日本語の使い方を伺えると言う点で留学生とともに私にとっても学ぶところが多いと考えています。

(学生会員 小林 透子)

バジャジャラン大学交流会

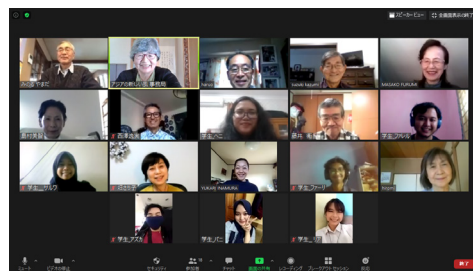
11月21日に初めてIメイトのパートナーの顔を見たとき、アジア風の皆さんも学生たちも笑顔をし、とても良かったと思いました。

今回のテーマは「新型コロナウイルス感染で変わった日常生活」や「終わった後に何がしたいか」となりました。

学生の方はほとんどオンライン授業のこと、旅行へ行きたいとか友達と遊びたいとか、または大学へ行きたいとか、様々な願いを込めました。アジア風の皆さんからは、家で仕事しても子供と遊ぶこととか、絵を書くとか、安らかな時間を過ごすこととか、とても素敵でした。

短い間でしたが、とてもかけがえのない交流会になりました。辛いときでも頑張って、感染が早く終わりますようにと願うことを語り合い、心の悩みが暖かい気持ちで変わったでしょう。バラバラな場所でも、同じ空の下で繋がっています。いつでも、どこでも。

(Iメイト学生 ベルリアナ・ヌグラヘニ)



〈二段目中央がヌグラヘニさん〉

～新しい日常～ 会員からの声～

～前向きに～

3月4月とコンサルタントをしているクライアントの経営が不透明になり2社契約が中止になりましたが、9月以降何とか立て直そうとする中小企業で新たなクライアントが3社生まれました。何処も構造改革を図ろうと必死です。活動も緊急事態時はリモートでしたが、今は訪問しています。



一方、サ高住に入居の95歳の父親とは、面会に行っても施設内にも入れない状態が続いており、まだまだ我慢をしなければならないようです。趣味のゴルフは、国内のみで少人数でプレーしています。

アジア風のOG達は、タイ、東京と其々元気で社会人として頑張ってくれています。清華大学の院生メイトもリモート講義中心で気をつけながら頑張っています。

(正会員 含本 一雄)

～韓国の青い空～

パスポートさえ持っていればいつでも海外に行くことができる、そんな日常が一変した2020年でした。世界は国単位で動いているということを感じた年でもあります。



海外への厳しい渡航制限が敷かれる中、7月1日、韓国への赴任の日を迎えました。異様なほど閑散とした空港、入国後のPCR検査、2週間の隔離生活…。よく聞か話ですが、実際に経験した人はどのくらいいるでしょう。隔離生活が明け、久しぶりに外に出て見上げた空、その時の空の青さと眩しさを今でも忘れることができません。

(正会員 信岡 麻里)

～コロナとの長い付き合い～

家に閉じこもる生活は、もう9か月になっている。基本的に家の中にいるのが好きだが、このような生活は、コロナで強制的にしばらく続くことを考えると、やはり気が重い。あまりにも喋っていなく、たまに話すと、舌が回らなくて悲鳴を上げる。自分の手料理で体重が落ち、運動不足で筋力も落ちている。ワクチンに期待して、事態が早く収まることを願っている。友だちと一緒に美味しいご飯を食べたい。



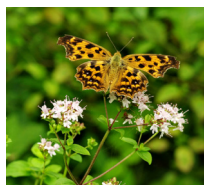
2021年は、平穏な一年でありますように。

(正会員 H.F.)

〈家にいる時間があまりにも長いので、植物を買って部屋に飾った〉

～自然の姿に感動～

バイクや車で気ままに旅をすることを楽しみにしてきましたが、この春からはそれが出来なくなりました。しかしその分、身近な草花や昆虫などに今まで以上に目を向けるようになりました。「雑草」や「虫」などの一つひとつに名前があり、様々な生態があること。それぞれが生き続けていくために進化し続けている姿。自然と生命の奥深さに驚かされます。コロナ禍を思うにつけ、自然と人間の正常な関係を取り戻すことが必要だと感じています。



〈イヌハッカの花に止まるキタテハ〉

(正会員 田代 學)

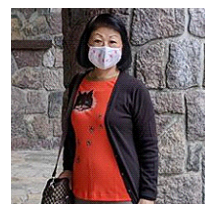
～コロナ禍の中で～

「With コロナ」と言われて新しい生活スタイルを余儀なくされています。

訪問介護ヘルパーの仕事が3月末で辞めました。自分は気を付けていても、デイサービスに通っておられる利用者さんがデイサービスの施設で感染されて私が濃厚接触者となり、更に他の利用者さんに感染させてしまったら考えるとストレスで胃が痛くなり眠れなくなりました。更に一昨年4月に他界した姉の一周忌の法要は春から秋へと延期しましたが、コロナが収束する気配が無く再び今年の三回忌まで延期としました。

コロナが早く収束する事を願い、ワクチンが早く使用出来る様になる事を望みますが、高齢者が治療の対象になる事は勘弁して貰いたいものです。

(正会員 古澤 サヨ子)



～～日本への留学を応援しています～～

19年末に夫婦でベトナムに行き I メイトのアインさんと初めて会いました。その後私たちの地元の熊本大学への留学が決定。アインさんも私たちもいつでも会える喜びに胸が膨らみました。そこに降って湧いた新型コロナの大流行…残念ながら留学は中止になりました。でもアインさんは今、今年の日本留学に向けて再び挑戦しようとしています。私たちも新型コロナの早期終息とアインさんの日本留学の夢が実現することを心から願っています。

(正会員 荒木 春洋)



～～技能実習生を支える～～

震災後に始めた技能実習生と塩釜市民との交流活動は、2020年2月の小学生とベトナム人実習生の交流授業を最後に休止しています。実習生対象の日本語教室だけは、仙台の大学生や地元の方々の支援の下で何とか継続して開催しています。今や実習生なくして、塩釜市の基幹産業の水産加工業は、成り立ちません。その実習生の帰国も、新規の入国もままならない状況が続いておりました。技能実習制度はいろいろな矛盾をはらみつつも、日本経済にとって必要不可欠なものとなり、コロナ終息後は、今まで以上に国境を越えた人々の動きが活発化するものと思っています。

(正会員 安川 一)



〈アオザイと打掛けで交流
前列中央が安川さん〉

～～ 2020年4月入社～～

私は20年の4月に大学院を卒業し、社会に漕ぎ出しはじめた。コロナの影響で、「集合研修」の実施が不可能になり、在宅研修を経た。配属後も在宅勤務の日々が連続している。それに、直接指導でスキルを学ぶ機会が失われたり、社内的な孤立につながったりすることへの不安を抱えている時が多くなる。

その反面、企業のOJT研修、働き方をオンライン化する動きが急速に広がったポジティブな影響も感じる。また、社内では、在宅勤務をきっかけにペーパー削減活動と呼びかけ、地球に優しいエコ働き方を宣伝している。

そういった意味では、新型コロナウィルスは、良い面も、悪い面も世の中を大きく変化させている。その中、私たちができることとしては、心を落ち着かせ、日々の喜びを作っていくでしょう。

(正会員 ニュン ティ イエン)



～～Uターンした福岡の日々～～

オンラインの普及で首都圏の学会や研究会への参加も容易になり、情報収集にはありがたい世の中になりました。一方、コロナ禍の時代、飛び交う情報が正しいかを判断することが難しい中、自ら真偽を見極めることが重要だと感じています。その見極めも時間を経つと変わり得るので、柔軟さが大切と思う昨今です。福岡にUターンして、介護チームと接する機会が増えました。多様な人たちが役割分担することで、超高齢社会が支えられていることを実感しています。

(正会員 竹宮 聡)



I メイトOG学生の活躍

事務局サポーターでもある東京大学大学院工学系研究科特任研究員ジャンミャオさんは研究科の先生たちとの共同研究で、磁石のNSの向きを世界最小の電流密度で反転させることに成功し、専門誌『Nature Electronics』で発表した。この研究は新型省エネルギー



不揮発性磁性メモリーに応用され、新しいコンピュータ、大容量記憶媒体などの製品にその効果を発揮できることが期待される。

このニュースはWeb版の日経新聞12月1日版に掲載された。

https://r.nikkei.com/article/DGXLRSP600738_W0A121C2000000

会員紹介

畑 さち子 さん

畑さんはJALにお勤めの後、ご主人の転勤に伴いシドニーに住まれ、そこで日本語教師の資格を取って日本語を教え始められた。帰国後、日経新聞にこれからはコーチングが有望な仕事であるという記事が掲載され、自分は相手の成長をサポートすることが楽しいということに思い至ってコーチングの研修を受け、この世界に入った。

現在は、国際コーチング連盟プロフェッショナル認定コーチ、日本アンガーマネジメント協会ファシリテーター、Mentor For Women's Career公式メンター認定講師などの資格をお持ちで、自らコーチングやメンターの仕事をされながら後進の育成にも努めておられ、OFFICE COACHING PLATZの代表としても活躍されている。

アジ風に入会した動機は、女性向けのビジネススクールの講演会にサポート役で一緒に参加していたのだが、その時の講師のアジ風事務局長の古海正子さんからアジ風の活動を聞き、自分も世

界とつながりたい、人の役に立ちたい、また今までの数々の縁に対する恩送りをしたいと思い、入会を決めた。現在はパジャジャランとタマサートの学生とのIメイト交流を行っている。日本語の上達には個人差はあるが、現地の日常生活を書いてくれるので、普段新聞などで知るのは違う現地の状況は分かって面白いし、若い感性に触れるのも楽しいとのこと。

今後のアジ風の活動については、コロナの影響でやむなくZoomなどのオンラインでのやり取りになっていると思うが、今後とも併行して行えばよいのではないかと、学生たちは十分使いこなしているし、日本でも地方の方も参加しやすいので今後とも積極的に活用すればよいと思う、また、コーチングと同様、アジ風の活動も、次世代の方々へのサポートとして楽しみながら続けていきたい、というお言葉を頂戴した。



(インタビュアー 奥山 寿子 文責 伊藤 莞爾)



今回は、20年秋から新しく清華大学の2年生と交流を始めた二人からです。12月8日にオンライン交流会をし好評でした。このような交流を入れつつ、お互いに交流を深めていきたいと思います。
(清華大学Iメイトコーディネーター 川口 祐子)

浅山久美子さんと王佳怡さんのメール

浅山さん→王さん

2020年 10月 8日



2月にアジ風に入会して、今回初めてIメイト交流をすることになりました。
王さんは国慶節はどのように過ごしたのですか? 清華大学では授業は始まりましたか? これから少しずつお互いのことを話していきたいと思います。

王さん→浅山さん

10月 14日

初めまして、王佳怡(オウカイ)と申します。
私は撮影が大好きで、時間があれば、いつも外に行き、写真を撮ります。一番好きな写真家は川内倫子です。新型コロナのせいで、今学期は短くなって、学校の授業は8月にもう始まりました。国慶節の時、友達と故宮に行ったり、書道に関する美術展を見たり、楽しいでした。日本語がまだ下手だから、間違えれば、ちょっと直していただいけませんか。

浅山さん→王さん

10月 19日

大きな間違いはほとんどありませんが、1)大きな間違いだけを指摘する。2)細かいところまで、一つひとつ丁寧に直していく。王さんは、どちらがいいかしら?

川内倫子さんは幻想的な写真が多く、素敵ですね!!

王さん→浅山さん

10月 27日

最近、授業の内容は難しくなって、ちょっと自信がなく、細かいところまで、一つ一つ丁寧に直して教えていただいけませんか。



今北京は秋で、景色がとても美しいです。先週、友達と一緒に後海公園に遊んで、おいしいお汁粉とケーキを味わったり、静かな川沿いに散歩したり、本当に楽しいでした。

浅山さん→王さん

11月 3日

北京の写真をありがとう、とても興味深く拝見しました。

王さん→浅山さん

11月 13日

日本語を直していただいて、本当にありがとうございます。勉強になりました。

11月11日は中国では、買い物の日としてタイムセールがありました。私も服とか、生活用品とか、いろいろな物を買って、楽しいでした。北京では、今月からめっきり冷え込んできます。そして、時々強い風が出ます。部屋にはスチームパイプも使い始めます。

樋口京一さんと向薔陶さんのメール

樋口さん→ライトウさん

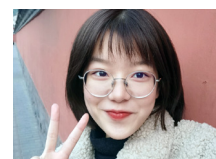
2020年 10月 12日

ライトウさんの日本語は上手ですよ。これから、メールを通して楽しみながら、覚えていって下さい。お手伝いさせていただきます。おすすめの歌「翼をください」(歌 山本潤子)ユーチューブのTV番組からの動画です

ライトウさん→樋口さん

10月 23日

名前なら、ライトウと呼んでくれればいいです。国家奨学金の申し込みが失敗して、重要な面接もうまくいかなかったです。だから、気持ちがあまりよくないです。しかし、その中には優秀な友達を作って、自分の不足の点にも気付きました。これから必ずもっと頑張ります。



いい知らせもあります。国家奨学金の申し込みが失敗しましたが、イオン奨学生に採用されました。とても嬉しいです。

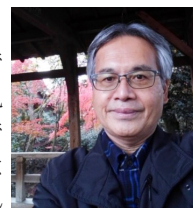
樋口さんのおすすめの「翼をください」を聞きました。このような歌が好きです。

樋口さん→ライトウさん

10月 25日

これからライトウさんと呼ばさせていただきます。私を「ヒロ」と呼んで下さい。

国家奨学金の受給を受けられなくて残念でした。同じように申込をしていた友達を見て、ライトウさんの弱みに気が付かれたのだしたら、大収穫ですよ。失敗から学ぶことはたくさんあります。前を向いて上を見て進んで下さい。



イオンの奨学生に選ばれたこと、おめでとうございます!!良かったですね。「未来へ」という曲。Kiroro(キロロ)という女性二人のグループ前向きになれる、明日を信じて一步一步進んで下さい

樋口さん→ライトウさん

11月 17日

京都の古文化財特別公開(お寺や神社の中を特別に公開する企画)にかかわっており、ほとんど毎日出かけております。

秋の紅葉の季節でもあり11月中は忙しくしており、メールしようと思いつきながら遅くなりました。

ライトウさん→樋口さん

11月 20日

ヒロさんは本当に忙しいなあ。でも、企画はおもしろそうと思います。京都の紅葉は有名で見たいです。京都の写真を楽しみにしています。

今後の行事予定

*詳細はHPを参照

2月20日 新春交流会

会場: 早稲田奉仕園

交流4校と架け橋グループがオンラインで参加。日本の会員もオンラインとリアルハイブリッドで参加できるように準備を進めていますが、事態が流動的なので、詳細が決まり次第メールで案内します。

・・・編集後記・・・

コロナ禍が年を越した。昨年は何という年だったのだろう。

先日、政府が推奨したワーケーションを実現できるコワーキングスペース(co-working space)を見てきた。廃校になった小学校にWi-Fi設備を整えて、個別の教室は会議に仕事に、体育館、音楽室、調理室も安い料金で自由に使える、都会から見ればうらやましいスペースである。コロナをきっかけに、人々の価値観の変化、働き方の変化で、職も住も都会への集中が緩和されるだろうと言われているが、新しい生き方のヒントになる施設であった。

70号では会員の皆さんに、コロナ禍での生活や感想をいただいた。誰もがコロナに戸惑いながらも、現実を否応なく受け入れて、前向きに生きようと努力されている。

人はどんな状況になってもそれに立ち向かう適応能力を持っていると思うが、その能力には個人差があり、また、自分ではどうすることもできない状況に苦しんでいる人もいます。

新しい年に明るい光が差すよう、歳神様とアマビエに祈りたい。

(奥山 寿子)